

この史代さんによる描き下ろし水彩画  
「自由の学び舎—作品を超えた出会い—」  
について

【解説】

この水彩画の作者は、『夕凧の街 桜の国』や『この世界の片隅に』で知られる漫画家・この史代さん。京都精華大学マンガ学部の教員と親交があり、キャンパスを描き下ろしてくれました。代表作の主人公をはじめ、『長い道』『さんさん録』『日の鳥』と、複数の作品の登場人物たちが、本学のキャンパスで学生生活を謳歌している様子が描かれています。

どこに誰がいて何をしているのかを眺めるのも楽しい、この絵には、二つのメッセージが込められています。一つは、戦時下も含め、作中でさまざまな時代を過ごした若者たちが、もし今この世界に生きていて、自分の好きなことを自由に学んでいたとするなら、どんなに素晴らしいだろうとの思い。もう一つは、大学という多様な人々が集う場所で、自分の考えや方法だけにとらわれず、たくさんの人や作品と出会いながら、お互いに切磋琢磨できることの大切さです。

本学の建学理念「自由自治」の文字を刻んだ石碑も見える日常風景の中で、作品内ではワンピースを着ることができなかつた皆実が編み物をしたり、絵を描くことが大好きだったすずが健やかに右手でスケッチしたりと、ここにいる皆が思い思いに過ごしています。その姿からは、「誰もが自由に学び合える居場所がある」ことのがけがえのなさが、微笑ましくも切ないほどに、伝わってくるのではないのでしょうか。

「自由の学び舎」であり続けようとする私たち、京都精華大学にご寄附を賜った方々への返礼として、謹んでこの水彩画を用いた記念品を贈呈いたします。

【出演してくれた登場人物たち】

- ・平野皆実、石川七波、利根東子：『夕凧の街 桜の国』より
- ・北條すず、北條周作、水原 哲、ばけもん：『この世界の片隅に』より
- ・老松 道、老松壮介：『長い道』より
- ・奥田三平、奥田乃菜：『さんさん録』より
- ・日の鳥：『日の鳥』より